

# みらいのジュータロー賞決定！

Loohcs 高等学院 佐野 陽菜さん

47 の創生の輪！～オンラインコミュニティで地方を救え！～

令和6年2月19日

京丹後市

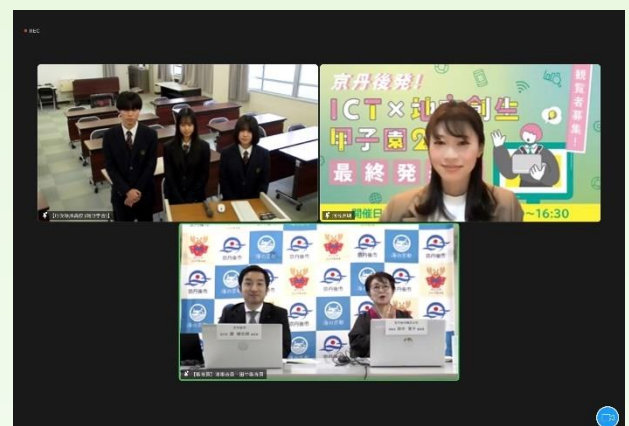
京丹後の魅力発信や課題解決のため、全国の高校生からICT技術を活用した新たなビジネスアイデアを募集し、「京丹後発！ICT×地方創生甲子園」を下記の通り開催しました。

全国から応募のあった28チームの中から選ばれた9チームが発表を行い、みらいのジュータロー賞を決定しました。この取り組みは本市での起業・創業、また、新産業の創出につなげていくための実践型プログラムの一環として実施し、今年度で3回目の開催となります。

## 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 概要

- ・開催日 令和6年2月3日（土）
- ・場 所 オンライン（Zoom）
- ・対 象 全国の高校生
- ・審査員
  - 柳澤 大輔氏（面白法人カヤック 代表取締役 CEO／審査員長）
  - 奥川 季花氏（株式会社ソマノベース代表取締役社長）
  - 田中 智子氏（京丹後市観光公社理事長）
  - 宮島 徹雄氏（iU 情報経営イノベーション専門職大学副学長兼事務局長）
  - 濱京丹後副市長
- ・みらいのジュータロー賞（グランプリ特典：賞金 10 万円）
  - ※この賞名は本市丹後町の生まれで、明治期から今に続くいくつもの企業の立ち上げに関わった近代日本経済の立役者 松本重太郎翁から命名しています。

## 開催の様子



## 【グランプリ】みらいのジュータロー賞

さ の はる な  
**佐野 陽菜 さん**

(Loohcs 高等学院)

「47の創生の輪！～オンラインコミュニティで地方を救え！～」

新しい観光のカタチを提供する、「町/場所の記憶」に特化したサイトを開設し、日常の何気ない風景や場所に眠る魅力を改めて採掘することで、新たな「観光資源」につながる仕組みを提案。



### アイデア概要

#### 1. サイトを介した事業の大枠

普段気に留めない、日常のあるがままの風景を私たちは見過ごしてしまう。そして、見ている暇差しも年を取るにつれて風景と共に変化していく。けれどそれに気に留めることなく毎日が進んでいく。何気ない風景や場所に眠る、魅力を改めて採掘し当たり前のように思われる風景にそれぞれの記憶を重ねる。そうした大量の記憶の蓄積が「観光資源」そのものの定義の幅や意味合いを広げ、観光様式に新しいうねりをもたらせるか実験したい。

#### 4. 目標

●短期的な目標  
月別：1500views

#### 2. 市場

情報メディア×地方創生

#### 3. 対象者

言葉と写真をパッケージ化した記憶の集積地。  
→言葉を読むことが好きな人。  
→写真を撮ることが好きな人。  
シェア好きの民。

誰かの記憶に寄り添う、地域魅力発信メディア  
**LOCAL LOG.**

リリース予定：2024年2月16日



発表資料一部抜粋

### 審査員コメント

- ◆これまでにありそうでなかったようなプランであり、センスのある内容のため、これから有名になっていくのではと思う。
- ◆情感溢れる内容で、これまでにない視点のため心が揺さぶられるプランであった。
- ◆個人の感性を大切にしているところが非常に良かった。今後サービスとして伸ばしていくために、いろいろな人にサイトを使ってもらえるようなことを模索してもらいたい。

### グランプリ受賞者コメント

これは現実なんだろうか、こんなことがあるんだと励みになりましたし、これから頑張ろうと思えました。今回初めて、自分の言葉とか写真とか自分の好きなもの、自分の思いを詰めこんだプレゼンだったので、認めていただいたというのは、とても励みになりました。さらにブラッシュアップしていつか誰かの記憶を蓄積できるポータルサイトにしていきたいです。

※グランプリ以外の発表者については「別紙 1」参照

**当日の様子は下記 QR コードページで公開予定！**



#### 【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課(担当:山崎)  
TEL 0772-69-0440/FAX 0772-72-2030

## 白石 彬さん、山口 改心さん（静岡県立富岳館高等学校）、藤井 天太郎（静岡県立松崎高等学校）

「アップサイクル×イベント創成『AddLink』」

地域にある不用品に付加価値をつけて製品の販売を行うことができる、地域密着型のフリマアプリ「AddLink」についての提案。また、地域の方にも利用してもらうため、月に1回「AddLink」に出品された商品を直接出品・購入できるイベントを開催する。

## 野村 吏市さん、石原 雅斗さん、西岡 雪帆穂さん、坂口 大翔さん（三重県立鳥羽高等学校）

「ポケッ鳥羽モンスター～ICT×鳥羽市 そして京丹後へ～」

有名キャラクターとコラボし、地域を知ってもらう機会をつくるアイデアを提案。アプリゲームと連携し、観光地の限定キャラクターを出現させるなどして観光客を呼び込み、地方活性のきっかけづくりとする。

## 瀬戸 美月さん、高田 侑さん、安田 和奏さん（京都府立丹後緑風高等学校）

「京丹後の味力掘り起こし隊」

京丹後市の魅力を高校生が発信していく、「TANGO 未来プロジェクト」の提案。企業と高校生が連携し、京丹後市の魅力を発信するために、琴引の塩を使ったアイスキャンディーなど京丹後市の食材を生かした商品開発を行い、その商品販売に向け、AI や SNS などを活用した新たな宣伝方法を発表。

## 辻本 純平さん、伊藤 榮音さん、越後 奨さん、川上 晃弥さん、岡 凌佑さん、小緑 彩斗さん （旭川工業高等専門学校）

「なま rally」

AR キャラクターによる解説や写真撮影、スタンプラリーの機能などを取り入れ、記憶に残る観光地となるように観光者をサポートするためのアプリの提案。

## 田口 汐織さん、小幡 詩月さん、竹中 ゆいみさん（近畿大学附属豊岡高等学校）

「デジタルフェス in 京丹後」

京丹後で開催される祭りやデジタルスタンプを掛け合わせた提案。祭りを訪れた際のデジタルスタンプラリーによる特産品の特典など地域の人だけでなく、市外の人にも訪れてもらい、地域の活性化を目指す。

## 細野 修平さん、後藤 拓実さん、中澤 瑛紀さん、松村 勇駕さん（佼成学園高等学校）

「SnapQuest ～みんなで創る！NFT メタバース観光地～」

NFT とメタバースによる新たな観光体験の提案。リアル観光地とメタバース観光地の両空間から観光客の呼び込みを図る。

## 長谷川 雅士さん、河島 大和さん、林 剣吾さん、山田 湖都さん、藤井 吾紋さん（高岡向陵高等学校）

「京丹後ゲーム」

京丹後市の特産品を組み合わせるスマホパズルゲームの提案。スマホゲームを通じて、京丹後市の魅力を認識してもらい、特産品の購入や観光に訪れてもらえるようなきっかけをつくる。

## 清水 紘輔さん（山形県立東桜学館高等学校）

「誰もが主人公になれる世界をつくるコーチング事業」

学生のやりたいを引き出すための、京丹後教育モデルの提案。学校、企業、行政と連携し、学生の自発性や社会性を育む持続可能な地域人材育成モデルの開発を目指す。